



発行所 東京都文京区千石
4丁目2番15号 〒112-0011
建帛社
株式会社
株主 紫 恒 男
発行人 筑 紫 恒 男
電話 営業部 (03) 3944-2611
編集部 (03) 3944-2613
FAX (03) 3946-4377
http://www.kenpakusha.co.jp/
E-mail info@kenpakusha.co.jp
©建帛社, 2015

日本調理科学会における研究展望

―創立50周年に向けて―

日本調理科学会会長

大越 ひろ



一般社団法人日本調理科学会
は平成二十九年に創立五十周年を迎えます。
日本調理科学会のあゆみを振り返りますと、五十年

間の研究の積み重ねを通して、人間生活に深くかわる食べ物、美味しさの決め手としての調理の重要性について、社会の人びとに認識していただけるように努力してきました。様々な素材を対象とした調理の過程を物理化学的な手法により分析し、さらに食べ物に対する人びとの嗜好性に関する調査も行い食生活の実態を把握し、その結果を公表

することを不可欠のテーマとして研究を継続しております。
近年日本では高齢者の人口割合が高まり、平成二十六年十月現在、総人口に占める六十五歳以上の割合は二十六％に達し、超高齢社会になっていきます。一方で、平均寿命の延びに對して、健康寿命が延びていないことが問題となり、要支援、要介護状態の高齢者が

年々増加しています。
平成二十六年の介護保険制度の改革では、在宅医療の充実を目標とした医療サービス提供体制の制度改革が行われ、地域包括ケアシステムの構築に取り組みことが決まり、介護の場が施設から在宅へ移行することが推進されています。在宅要介護者の増加により、家族やホームヘルパーによる介護が中心となっていくため、市販介護食品への要求は増大するといえます。

このような時代背景において、農林水産省は平成二十五年度から「これからの介護食品をめぐる論点整理の会」を発足させ、同年十月からは「介護食品のあり方に関する検討会議」として検討を重ね、平成二十六年十一月十一日の介護の日に、「新しい介護食品の選び方」を愛称「スマイルケア食」と共に公表しました。

本学会においても、摂食機能（咀嚼や嚥下機能）を考慮した食べ物の調理特性に関する研究、すなわち、介護食品に関連する研究が

増加しつつあります。介護食品の需要増加に伴い、摂食機能に応じた食べ物の開発には、その過程での調理特性の物理化学的な変化を解析する必要性もあり、嗜好性の向上も配慮すべき項目なので、介護食品に関する研究は新たな課題と言えるでしょう。

本学会が力を入れている取り組みとして、『クックアリーサイエンスシリーズ』があります。この企画は創立四十周年記念事業として行われているもので、高校生、大学生、一般の方々に生活と密接に関連のある「調理科学の不思議やおもしろさ」をわかりやすく知ってもらうことを目的としたものです。現在、一、六巻が建帛社から出版されており、好評を得ています。今後も新たな研究成果の刊行を継続していく予定です。

また、本学会では全国規模で行う研究活動の取り組みとして、平成十三年度から「調理文化の地域性と調理科学」というテーマで、平成十三・十四年度は「豆・いも類」、平成十五・十六年度は「魚介類」について特別研究を行ってまいりました。また、平成二十一・二十二年度には「行事食」に限定して調査研究を行いました。

さらに、平成二十四年度からは、今までの研究成果をもとにして、伝統的な地域の料理が親から子へ伝承されにくい傾向にある現代を鑑み、聞き書き調査を通して、「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」を暮らしたの様に共に記録し、分析する試みを行っています。ご家庭料理は季節性のある地域の食材を用いた料理であり、食べ方や保存に對し

て、人びとは工夫を重ねてきました。この調査研究には六支部、四十七都道府県の会員三百四十余名が参加しており、百年後にも伝え継ぐことができる日本の家庭料理を残したいという趣旨から、調査研究の成果を「日本の家庭料理」としてシリーズ化する企画をしております。創立五十周年の平成二十九年年度までに、一十巻の刊行を目標とし、全四十七巻の完結を目指し、現在準備中です。平成二十八年春には待望の第一巻「長野県家庭料理」の刊行が予定されておりま

す。
日本調理科学会ではこれまでの歩みを踏まえて、今後も調理科学の研究と普及に貢献していく所存です。ご支援とご協力をお願いいたします。
(日本女子大学教授)

母子健康手帳「電子化」の動き広がる

母子健康手帳（母子手帳）は、日本発の母子保健のシステムとして、近年世界の多くの国々でその制度が取り入れられ注目されている。アジア、アフリカ諸国を中心に一九九〇年代ごろより広まり、ヨーロッパでもフランス、オランダで導入され、今では三十か国以上に及ぶ。中国でも既に二〇一六年からの全国配布をめざし、日中が協力していくことが、去る六月に発表された。

また、国立成育医療研究センターによるモンゴルでの実証研究として、母子手帳の配布が、妊婦健診の受診率や合併症の発見率を向上させ、妊婦や新生児の健康に寄与することが初めて科学的に証明されたことが報告された（二〇一五年四

月公表）。同調査では、母子手帳配布家庭において、妊婦の家族の喫煙が、顕著に減少したことも示されている。

そのような中、日本国内では、母子手帳の「電子化」の動きが広まりつつある。民間のNPO法人や各企業などが開発したスマートフォン用のアプリも利用可能となつていくほか、子育て支援施策のIT化の一環として、各自自治体による取り組みが行われている。既に京都府や富山市などで「電子母子手帳」のシステムが稼働している自治体もある。

それぞれの自治体の用意したネット上のページにパソコンやスマートフォンから利用者が登録することにより利用可能となり、行政



カナダ バンフ国立公園 レイクルイーズ

残暑お見舞い申し上げます

また、本学会では全国規模で行う研究活動の取り組みとして、平成十三年度から「調理文化の地域性と調理科学」というテーマで、平成十三・十四年度は「豆・いも類」、平成十五・十六年度は「魚介類」について特別研究を行ってまいりました。また、平成二十一・二十二年度には「行事食」に限定して調査研究を行いました。

さらに、平成二十四年度からは、今までの研究成果をもとにして、伝統的な地域の料理が親から子へ伝承されにくい傾向にある現代を鑑み、聞き書き調査を通して、「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」を暮らしたの様に共に記録し、分析する試みを行っています。ご家庭料理は季節性のある地域の食材を用いた料理であり、食べ方や保存に對し

て、人びとは工夫を重ねてきました。この調査研究には六支部、四十七都道府県の会員三百四十余名が参加しており、百年後にも伝え継ぐことができる日本の家庭料理を残したいという趣旨から、調査研究の成果を「日本の家庭料理」としてシリーズ化する企画をしております。創立五十周年の平成二十九年年度までに、一十巻の刊行を目標とし、全四十七巻の完結を目指し、現在準備中です。平成二十八年春には待望の第一巻「長野県家庭料理」の刊行が予定されておりま

す。
日本調理科学会ではこれまでの歩みを踏まえて、今後も調理科学の研究と普及に貢献していく所存です。ご支援とご協力をお願いいたします。
(日本女子大学教授)

からのさまざまな母子保健、子育てに関する情報が得られるとともに、個々の子どもの成長をデジタルデータとして記録することができ、画面上で成長曲線のグラフなどが自動作成されるようになっていく。

現在、各自自治体が民間企業に委託して独自のプログラムを開発している状況だが、全国への広がりを見越して、日本産婦人科医会が中心となって「電子母子健康手帳標準化委員会」が昨年一月に発足した。委員会は、母子手帳を電子化する際のフォーマットを統一し、クラウドなどに体系的に保存することで、転居などで受診する病院が変わった場合にも情報を共有できるような仕組みを、東日本大震災などの教訓をもとに、天災などにより病院の検診記録が消失した場合にも、電子母子手帳の記録が活用できることを狙っている。

新刊専門書

(表示は本体価格(税別))

栄養・食糧学用語辞典〔第2版〕

日本栄養・食糧学会 編
○初版刊行以来7年。日本栄養・食糧学会の叢書を結集し、全編の記述を見直した第2版。
○新規用語約380語、書き下ろし改訂用語約720語。
○生化学、臨床栄養学、食品学、健康科学、公衆栄養学、調理学、食品工業はか関連分野について、疾病名、物質名、食品名など幅広く11,300余項目を掲載。
A5判／84頁 函入 11000円

用語検索機能CD-ROM付

食事摂取基準による栄養管理・給食管理

PDCAサイクルの実践―
「日本人の食事摂取基準(2015年版)」を活用して、実践における考え方、留意点を詳細に示す。ライフステージ・施設別に、食事改善と業務改善、両者の視点を整理・統合した実践をフロー図を用いて提示する。
日本栄養・食糧学会 監修
山田均・立花安文 責任編集
A4 168頁 2700円

食品因子による栄養機能制御

第68回日本栄養・食糧学会大会シンポジウム「食品成分によるエネルギー代謝」と「植物性ポリフェノール研究の最前線」を中心に機能性食品因子研究の最前線をまとめる。化合物レベルで栄養機能制御に関する作用機構、特に生活習慣病などの疾病予防・改善にかかわる作用機構を解明、あるいは解明する糸口が明確な研究に焦点を当てる。
アントシアニンと食品
―アントシアニン含有食品の加工利用特性と機能性―
津久井重紀夫・寺原典彦 編著
A5 196頁 2800円

食と心

―その関係性を解き明かす―
・食は心に、または心に食が相互に作用している。
・食にかかわる病状と心の関係にアプローチするとともに、微量元素や栄養素が心と深くかかわっていることなど、どのように食が心に影響するかについて展開する。
京都健康フォーラム 監修
中井吉英・本庄 蔵 編著
A5 184頁 2000円

HACCP管理者認定テキスト

日本食品保蔵科学会によるHACCP管理者資格を取得するための知識習得を目指す。
日本食品保蔵科学会
HACCP管理認定委員会 編
B5 132頁 2000円

最新栄養学〔第10版〕

―専門領域の最新情報―
・五年(2)に改訂される「Present Knowledge in Nutrition」(John Edition)を翻訳した最新版。
・エビデンス・システマティック・バイオロジーなど前版で新潮流として取り上げられた研究実践を新たな章立てとして掲載。研究に必須の文献も多数掲載。
木村修・古野純典 翻訳監修
B5 1144頁 25000円

クックリーサイエンス

1. 加熱上手はお料理上手 河野一世 著 1800円
2. だしとこはんの科学 目沼やす子 著 1600円
3. 野菜をミクロの眼で見る 田村咲江 著 1600円
4. お米とこはんの科学 目沼やす子 著 1600円
5. 和菓子の魅力 高橋節子 著 1800円
6. 科学でひらくコトの世界 榎田靖子 著 1600円

若い保育者の
キャリア形成を支える

石川 昭義

子ども・子育て支援新制度が平成二十七年四月に本格施行された。幼保連携型認定こども園や小規模保育等を含め、新しい仕組みの中で教育・保育のニーズに応えながら、すべての子どもに健全な育成を図らねばならない。ニーズに応えるという意味では、子どもを受け入れる量的な整備を図るとともに教育・保育の専門職としての保育者（保育士、幼稚園教諭、保育教諭等の総称として）の安定的確保が必要不可欠となる。

近年、指定保育士養成施設を卒業する人は年間約四万人である。そのうち、保育所に就職する人は約二万人とされる（全国保育士養成協議会の資料による）。このように、毎年多くの新人が就職しているにもかかわらず、保育士不足が解消されないと言われる。なぜ

た出来事」の上位（複数回答可）は、「自分の幼い頃の保育所、幼稚園などの先生の思い出」五六・三％、「中学校や高校の時の職場体験」四三・八％である。つまり、将来の仕事を生

私は「若い保育者が、なぜ今の仕事を選んだのか」という、その気持ちに對して、当人も、採用する側も向き合うことが大切ではないかと考えている。私が新任の保育士を対象に行ったアンケート調査では「保育の仕事を実践的に意識し始めた時期」は、「小学時代」二〇・三％、「中学時代」一八・八％、「高校時代」四二・二％で、「大学時代」と答えた人は二二％にとどまる。しかも「保育の勉強を志したことに影響を与え

と、教授会は「教育・研究および、また、学部教授会も同様に意思決定機関から審議機関と位置づけられた。さらに、各々の教授会の審議の結果は学長に対する意見として扱われ、議長である各学部長が学長に報告して承認を得、次回の教授会で学長承認についての報告をするルールも確立された。今回の学校教育法改正が従来の

明確にして、その方針に沿って保育士が研修に参加できるようにするための環境整備が大切だとしている。あの先生のようになりたいと思える人がそばにいて、経験年数とともにキャリアアップしていく道筋が名実ともに見えるような仕

食品因子による

生活習慣病予防効果

芦田 均

食品の機能性に関しては、生活習慣病などの疾病予防・改善の観点からの研究が多くなされてきた。しかし、その多くが抽出物や、それを含む組成物による機能性検証レベルでの研究であり、化合物レベルでの詳細な作用機構解明はまだ十分ではない。今年四月一日から、特定保健用食品に次ぐ、新たな機能性表示制度が始まったが、この制度では、関与成分とその作用機構を明確に示すこと、さらに安全性を担保することが

強く求められている。このような状況の下、非栄養素、すなわち食品因子に特化して、化合物レベルでの栄養機能制御を介した生活習慣病予防効果の作用機構に関する最新の話題を紹介する。

組み、そして、過去から来へとつながる人生の中で、保育者としての自分らしい生き方を展望できるような仕組みを、養成教育段階と職場が協働して整えていくことが大切だと思う。（仁愛大学教授、人間生活学部長）

好評発売中
Microsoft Excel アドインソフト
エクセル栄養君® Ver.7.0
制作・著作 吉村幸雄 本体価格24000円(税別)
「日本人の食事摂取基準（2015年版）」対応
▼エネルギー・産生栄養素バランスを成績表に表示。
▼同義語・主材料名による料理・食品検索機能搭載。
▼複数日献立の平均をボタン一つで計算・表示。
エクセル栄養君 Ver.7.0 オプションソフト
食物摂取頻度調査 FFQg Ver.4.0
制作・著作 吉村幸雄・高橋啓子 本体価格6000円(税別)

リゴ糖の機能として、フラボノイドの吸収促進・機能増強作用が見い出された。また、ジャガイモなどのデンプンが消化されて生じたレジスタントスターチが、大腸での腸内発酵を促すことで短鎖脂肪酸を産生し、大腸機能改善にかかわることが明らかとなった。

食品の二次機能である嗜好特性に寄与する呈色、呈味、香気成分には、三次機能である生体調節機能を示すものがある。例えば温州ミカンなどに含まれるβ-クリプトキサンチンや褐藻類に含まれるフコキサンチンは、それぞれ脂肪細胞の肥大化の抑制、エネルギー代謝の活性化などにより抗肥満・抗糖尿病作用を示す。柑橘類の苦味成分であるノミリンは、抗肥満・高血糖改善作用をもたらす。ガリリック由来のスルフィドは、調理などの物理的損傷により内在性酵素が働くことで香気や香味を生じるが、このような二次機能に加えて抗血栓作用や抗がん作用を示す。

ポリフェノールに関して、標的分子を明確にし栄養機能制御作用を介した生活習慣病予防の作用機構を解明する研究が進んでいる。先駆けは、茶カテキンであるEGCGが67-kDアラミンレセプターを介して多様な機能を発現することが明らかとなったことである。最近の研究では、ブドウ種子のレスベラトロール、ウコンのクルクミン、カカオや黒大豆などに含まれるプロシアニジンなどが、先に述べたノミリンと同様に、インクレチンホルモンを介して、膵臓からのインスリン分泌を促すことで高血糖改善作用をもたらすことが示されている。

最近注目されている筋萎縮の抑制作用は選択性が低く、レスベラトロールやケルセチンなど多様なポリフェノールが有効性を示す。また、イソフラボンであるダイゼインの代謝産物エクオールは骨代謝を調節するが、最近の研究では脂質代謝や糖代謝に対しても有効性を示すことが明らかとなった。

ポリフェノールの生体利用率は一般的に低く、吸収された一部の化合物も多くは抱合体として存在し、アグリコンとしての存在量は微量である。したがって、消化管からの吸収にかかわるトランスポーターの研究や代謝変換に関する研究、さらには、機能性発現にかかわる活性本体の探求がその機能性を理解するうえで必要である。

学校教育法改正の雑感

岡 純

このところ「大学のガバナンス」という大学教員にはあまり馴染みのなかった言葉をよく耳にする。中央教育審議会の議論では、実業界の関係者から教授会に対する学長の権限を拡大すべきだという意見が強く表明されていたと聞く。

企業のようにトップダウンによる迅速な決定が多くの課題を抱えた現在の大学を、時代の変化に即応して改革するにあたって必要とされたということなのだろう。

東京家政大学では、この法改正に伴い本年二月の全学教授会で教授会規程の改正が議論され、承認された。改正された規程による

決定権者の学長が審議機関の議長を務めるという矛盾を解消するため廃止された。新たに全学的事項について審議するものとして全四学部の合同教授会が設けられた。全学部合同教授会では、年度初回の会議で学長が所信を表明する機会をもつこととなった。議長は各学部長が輪番制で務める。

ところで、京都大学人文科学研

究所の山室信一・前所長は、いじくも「大学は個性豊かな商店街のような組織」と表現している。地方都市では、駅前商店街を活性化するために商店主たちは知恵を絞る。現在の大学の教育・研究の内容は多岐にわたり複雑なものになっている。現場の教員でなければ十分な判断ができないことも多いと思われる。今後とも教員の自律的な判断が教育・研究の多様性の実現にかかわってくることは変わりはないだろう。

本学の教授会においても教員の活発な審議はますます必要となるであろう。理事会、学長、事務組織と教員の間の密接な連携のもとに本学のさらなる発展が図られるように期待しながら、今回の教授会規程改正にしみじみと時代の趨勢も感じつつ次第である。（東京家政大学教授、家政学部長）

新刊教科書

(表示は本体価格(税別))

人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち2	志村三夫・石田均 編著	B5 296頁 3400円
食べ物と健康…食品衛生学	川井英雄・丸井正樹 編著	B5 216頁 2500円
応用栄養学	辻悦子 編著	B5 248頁 2800円
臨床栄養学	9月刊 明渡陽子・長谷川輝美 編著 山崎大治	B5 356頁 3800円
公衆栄養学〔第2版〕	由田克士・押野榮司 編著	B5 224頁 2600円
給食経営管理論〔第2版〕	宮澤節子・松井元子 編著	B5 256頁 2900円
〔シリーズ既刊〕		
社会・環境と健康…公衆衛生学	北田善三・須崎尚 編著	B5 208頁 2400円
基礎栄養学	木元幸一・中島滋 編著	B5 216頁 2500円
〔シリーズ続刊〕		
人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち1	志村三夫・石田均 編著	B5 208頁 2400円

日本人の食事摂取基準2015年版ほか
最新動向に即した新刊・改訂版

Nフックス

四訂 公衆衛生学(第2版)	後藤政幸・中村信也 編著	B5 240頁 2700円
新版 社会福祉概論	金子光一 編著	B5 184頁 2300円
疾病の成り立ち…臨床医学(第6版)	田中明・加藤昌彦 編著	B5 216頁 2400円
三訂 食品加工学	菅原龍幸・宮尾茂雄 編著	B5 232頁 2600円
三訂 栄養学総論	林澄三 編著 食沢新一・阿久津章治 執筆協力	B5 216頁 2400円
三訂 基礎栄養学	林澄三 監修 木元幸一・鈴木和春 編著	B5 216頁 2500円
四訂 応用栄養学	江澤郁子・津田博子 編著	B5 264頁 2800円
改訂 運動生理栄養学(第2版)	高松薫・山田哲雄 編著	B5 184頁 2200円
改訂 栄養指導論	相川りゑ子 編著	B5 176頁 2200円
三訂 臨床栄養管理(第2版)	渡邊早苗・寺本房子 編著 松崎政三	B5 264頁 2800円
五訂 公衆栄養学	八倉巻和子・井上浩一 編著	B5 224頁 2600円
給食経営管理論(第5版)	君羅満・岩井達 編著 松崎政三	B5 248頁 2800円
調理科学(第3版)	森高初恵・佐藤恵美子 編著	B5 216頁 2500円
新編 化学	木元幸一・後藤潔 編著	B5 232頁 2600円

三訂 マスター応用栄養学	市丸雄平・岡純 編著	B5 256頁 3000円
改訂 マスター栄養教育論	逸見幾代・佐藤香苗 編著	B5 216頁 2700円
応用栄養学実習書	柳沢幸一・松井幾子 編著	B5 192頁 2300円

普遍的な価値の重要性
―社会福祉学の視点から―

金子光一

戦後七十年が経過し、国際情勢が不安定化する中で、日本は大きな分岐点に立っている。現在の政権与党は、日本の平和と国民の安全のために「戦後以来の大改革」が必要であり、日本国憲法を改正し「戦後レジームからの脱却」を成し遂げるべきだと主張している。

戦後の日本は、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を三大原則とする日本国憲法に基づき、民主主義を重んじ、平和的に共に生きる道を求めてきた。人々が人間らしく生きていくためには、自由に物事を考え、行動し、差別なく平等に扱われなければならない。また、私たちが気づかないところで「生きづらさ」を感じている人も多い。しかしながら、挫折や苦悩を繰り返して、平和的共存の道を追求してきた。もちろんその道は険しく、未だ多くの課題が残されている。

繰り返して、平和的共存の道を目指して歩んできたことは事実であろう。日本国憲法には、生存権を定めた第二十五条がある。社会福祉の領域では、すべての人が人間らしく生きるための拠り所となる規定で、この条文に基づき日本の公的扶助制度も整えられた。最低限度の生活保障の考え方は、フェビアン社会主義者のウェッブ夫妻(Sidney & Beatrice Webb)が一八九七年の『産業民主制論』で最初に提唱した「共通規則」(common rule)を起源とし、その後ナショナルミニマム思想へ発展した。

一九四五年十月二十九日、憲法制定の準備・研究を目的とする民間の研究會(憲法研究會)が、大原社会問題研究所の所長であった高野岩三郎の呼びかけで結成された。同研究會の事務局は憲法史研究者の鈴木安蔵が担当し、その他、杉森孝次郎、森戸辰男、岩淵辰雄らが参加していた。彼らは審議を重ね、生存権(国民ハ健康ニシテ文化的水準ノ生活ヲ営ム權利ヲ有ス)など人権規定を含む『憲法草案要綱』を一九四五年十二月二十六日にまとめた。一九四六年二月十三

日に日本政府に提示された連合国軍総司令部(GHQ)草案に、この『憲法草案要綱』が影響を与えたとされている。私は社会福祉の歴史研究を専門とする者として、人々の生活の現実に根ざした深い歴史認識をもつことが重要だと考える。多様な「個人の幸福と誰にとつても生きやすい」社会の幸福を追求するために必要なのは、民主主義、人権、平和の普遍的価値が守られることであろう。私たちは今こそそのことを再認識しなければならぬ。

百歳以上の高齢者は、前年から三千二十一人増の五万四千三百九十七人、四十三年連続の増加で過去最多を更新した。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」(二〇一六)では、百歳以上高齢者は二〇五〇年には六十八万人に達するとしている。以上から、人生六十五年を前提としたこれまでのシステムを引き延ばす政策展開や人生設計ではなく、すぐに訪れるであろう百年時代を前提とした長期的政策の方向性や個人の人生設計を考える時代が来ているといえよう。

高齢期、仕事から生活中心のライフスタイルへの転換により、仕事や交友関係、家庭内の役割などを見直し、スローライフを前提としつつも余暇の過ごし方をとらえ直す必要があるといえる。若者とともに老若共同参画社会を構築するための方策、さらには日本の未来を切り開くための高齢者のあり方やエイジレス社会実現のための方策を考える時代が来ているといえる。

少子高齢社会の中で高齢者一人ひとりの活動が、高齢者を「老害」とはいわせないイメージ構築につながる。今日それが可能なのは、高学歴ホワイトカラーの高齢者割合が増え、その経験を生かした社会関係の中で自己有用感に支えられた高齢者の自己変革が可能だからである。

一九八三年、ハーバード大学主催の国際セミナーでButlerはProductive Agingの理念を打ち出した。彼は「高齢者を社会の弱者として差別や偏見の対象とするのではなく、すべての人が老いてこそますます社会にとって必要な存在であり続けること」を述べている。さらに、高齢者を「お荷物」「役立たず」「老いはれ」とすることへ異議申し立てをし、そのような偏見をなくすこと、高齢者も若者と同様生産的で、社会への積極的な参加が可能なことを世の中に訴え続けた。

人生九十年時代、このProductive Agingの考え方は重要である。しかし、国の政策的視点からの個人への押し付けでなく、真の意味で高齢者のwell-beingの追求を目的とすることに、私たちは注意を払わなければならない。そうでなければ、様々な心身の問題を理由にProductiveでない高齢者への批判につながりかねない。高齢期はそれぞれの生活史から個人の心身の状況が極めて多様で、個人差が大きい。私たちはあくまで個人のwell-beingの追求を目的としたProductive Agingであることを、心に留め置く必要がある。ゲートは「ひとりの人間の生活そのものが、その人の日々の生活が、その人の全体を表しているといえる。高齢期最後まで尊厳をもち生きていく社会にしていきたいものである。」(実践女子大学教授

人生九十年時代における
Productive Agingの意味
細江 容子

二〇一二年に閣議決定された「高齢社会対策大綱」では「人生六十五年時代から人生九十年時代へ」「高

齢者は支えられる側から支える側へ」を提唱している。厚生労働省の二〇一二年の調査では、日本人の平均

寿命(死亡率などをもとに、その年に生まれた〇歳の子どもの何年生きられるかを示す数値)は女性八六・四一歳、男性七九・九四歳で、女性は二年前に世界一、男性も〇・五〇歳延びて八位から五位に上昇した。高齢者の平均余命はさらに長いといえる。

二〇一三年の調査では、

体的な生活場面に引きつけて題材化できることにあります。そこにおいて「自分の問題に対して葛藤しながら解決しようとする力を身につけてほしい」「正解がない問題に対して多様な解決方法があることを知ってほしい」と語ってくれました。また、小学校の先生からは「問題に気づくための仕掛けには、探究したり試したりする時間が必要」であり、「探究する・思考すること」「学ぶ楽しさ」を知った子どものエネルギーは無限」とうかがいました。

このように、問題解決的な学習は、家庭科を学ぶ児童・生徒はもろろんのこと、実践する教師にとつても魅力的な要素に満ちています。そうした学習にじっくり取り組みめる時間と空間をいかに確保するかが問題解決リテラシーの習得に不可欠であり「解決すべき大きな問題」と言えそうです。

(大阪教育大学教授

家庭科教育で育む
問題解決リテラシー

鈴木 真由子

二十一世紀に求められる人材には、現代社会における諸問題、例えばグローバル化や高度情報化、少子高齢化、環境問題(有限性のある資源)等への対応力、問題解決リテラシーが不可欠です。それに伴って、これまでは、「何を知っているか(知識・情報の獲得)」に重きが置かれていた学力観が、「何ができるか(知識・情報の活用)」「さらには「どのようにするか(協働性・態度)へと転換されました。そうした中でOECDは、①実社会への応用、②実践的な体験活動、③学習者相互の意見交換、④探究活動等の教授法に注目するようになりました。言うまでもなく、これはOECDが注目している教授法そのものであり、アクティブ・ラーニングにほかなりません。

家庭科の魅力は、現実社会で起っている問題を素早く直接的に「取り上げられること」です。さらに「問い直す活動から始まる」といって言えば、それらを児童・生徒の具も過言ではありません。ある高校

者の主体的な探究活動を進めてきました。言うまでもなく、これはOECDが注目している教授法そのものであり、アクティブ・ラーニングにほかなりません。

家庭科の魅力は、現実社会で起っている問題を素早く直接的に「取り上げられること」です。さらに「問い直す活動から始まる」といって言えば、それらを児童・生徒の具も過言ではありません。ある高校

者の主体的な探究活動を進めてきました。言うまでもなく、これはOECDが注目している教授法そのものであり、アクティブ・ラーニングにほかなりません。

家庭科の魅力は、現実社会で起っている問題を素早く直接的に「取り上げられること」です。さらに「問い直す活動から始まる」といって言えば、それらを児童・生徒の具も過言ではありません。ある高校

者の主体的な探究活動を進めてきました。言うまでもなく、これはOECDが注目している教授法そのものであり、アクティブ・ラーニングにほかなりません。

家庭科の魅力は、現実社会で起っている問題を素早く直接的に「取り上げられること」です。さらに「問い直す活動から始まる」といって言えば、それらを児童・生徒の具も過言ではありません。ある高校

者の主体的な探究活動を進めてきました。言うまでもなく、これはOECDが注目している教授法そのものであり、アクティブ・ラーニングにほかなりません。

管理栄養士国家試験 eラーニング

- 国家試験の過去問題、解答・解説を収載したeラーニングシステム
- 過去問対策から成績管理まで、国家試験対策を完全サポート
- 個人用プラン 5000円(税別) (3年間ライセンス契約)
- 学校用プラン 1103000円(税別) (1年間ライセンス契約)
- 個人用プラン(学生用サイト)の主な機能
- 模擬試験・分野別・ランダムなどさまざまな形式で学習。
- 科目ごと、試験ごとの成績管理機能。
- 学校用プラン(教員用サイト)の主な機能
- 学生の利用状況、成績を一括管理。成績の比較・分析も可能。
- 小テスト作成機能。作成した小テストは学生用サイトに更新。

Nブックス実験シリーズ 改訂 食品衛生学実験 健康づくりの栄養学(第2版) 栄養学養成課程のための 栄養学実験実習(第2版) ―基礎と応用― 改訂 応用栄養学実習 ―ケーススタディで学ぶ 栄養マネジメント― ライフステージ別栄養管理実習(第2版) 栄養教育論実習(第2版) 医療・介護老人保健施設における 臨床実習マニュアル ―臨床栄養学(第5版)― 管理栄養士講座 三訂 健康・調理学(第2版) ―おいしさから健康へ― 管理栄養士・栄養士の教育 ―専門性の向上を目指して― 管理栄養管理ポケット辞典 三訂 栄養と健康	後藤政幸 編著 小林修平 編著 渡邊早苗・山田和彦 編著 吉岡慶子・三成由美 編著 徳井敬孝 編著 岡崎光子・豊島直美 編著 寺本房子・渡邊早苗 編著 松崎政三 編著 和田淑子・大越ひろ 編著 日本NPO法人 日本管理栄養士・栄養士の夢 三訂 健康・調理学(第2版) ―おいしさから健康へ― 管理栄養士・栄養士の教育 ―専門性の向上を目指して― 管理栄養管理ポケット辞典 三訂 栄養と健康	池田隆英・楠本恭之 編著 中原朋生 編著 民秋 言 編著 高橋司 安藤和彦 編著 石川昭義・小原敏郎 編著 相澤謙治・井村圭壯 編著 安田誠人 編著 赤木正典・流土治郎 編著 流土治郎・赤木正典 編著 野原八千代 編著 高内正子 編著 小川雄二 編著 小川雄二 編著 小川雄二 編著 本郷一夫 編著 都築光一 編著 吉弘淳一・横井一之 編著 成 和子 編著	B5 144頁 2000円 B5 144頁 2200円 A4 104頁 2000円 B5 216頁 2700円 B5 240頁 2600円 B5 152頁 2100円 A4 136頁 2400円 B5 232頁 3000円 A5 128頁 1200円 新書判 368頁 2800円 A5 184頁 1900円 A5 200頁 2000円
---	--	---	---

今後の四年制大学における
介護福祉士養成の役割

荏 原 順 子

本年二月に出された「二〇二五年に向けた介護人材の確保」量と質の好循環の確立に向けて」(社会保
障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会)で、二〇二五年までに介護福祉士資
格取得者を介護職の中核的
存在として位置づけること
が示された。それにより介
護職の社会的評価を確立す
る方向性を指すというも
ので、介護福祉士養成校と
しては「質の確保」が、こ
れまで以上に真剣に取り組
まねばならない課題となつた。

介護福祉士登録者数は増
加傾向にあるが、二〇一三
年度は約百十八万人、その
うち国家試験受験者は約八
十八万人、養成校卒業者は
約三十万人であつた。現在、

介護福祉士養成大学は定員割
れの傾向にあり、今後これ
以上の卒業者の量的確保は
望めそうにない。そのた
め、養成教育の質を向上さ
せることで貢献していくこ
とが重要な役割となる。

このような状況のもと、
介護福祉士養成大学の役割
は何か。何をすべきなのか。
昨年、介護福祉士養成大
学連絡協議会では「今後の
四年制大学における介護福
祉士養成教育の在り方」を
検討するため、全国の介護
福祉士養成大学に対しアン
ケート調査を行った。その
結果、社会福祉士国家試験
の受験資格取得を目指した
教育課程と併用しているこ
ろが多いため、一般的な
大学卒業の基本要件の百二

十四単位を大幅に超える単
位数(約百七十単位等)を
取得している現状が明らか
になった。また、四年制大
学卒業の介護福祉士として
の強みは何かという点で、
単に「技術ができる」「即
戦力となる」といったこと
ではなく、四年間の学びと
いう量と質の内容によって
て、介護福祉の根拠となる
知識や技術を修得できるこ
う回答が得られた。そし
て、大学での基礎科目等の
履修をバックボーンとし
て、利用者・介護職チー
ム・他職種等と連携する能
力が得られるという回答も
あつた。

介護福祉士養成大学連絡
協議会では、この結果をも
とに、介護福祉士養成大学
の現在の位置、卒業後の
キャリアデザインの方向性
を柱として「上級介護福祉
士(仮称)」の提案をした。
現在の教育科目を再検討
し、「教育・研究関連科目」

一九八〇年五月に世界保健機関
(WHO)が、天然痘の根絶を宣
言しました。人類が一つの病原体
を撲滅したのは初めてのことで
す。今年はこの宣言から三十五年
目を迎えました。この間WHO
では急性灰白髄炎と麻疹の根絶に
取り組んできました。その結果、
本年三月、日本が麻疹の排除状態
にあることが認定されました。と
はいっても、海外から持ち込まれ
たウイルスによる患者が毎年発生
しており、感染の機会がなくなつ
たわけではありません。

天然痘が根絶された翌年、米国
においてエイズの流行が始まるな
ど、現在も人類は多くの感染症と
戦っています。二〇一二年十一月
に中国広東省に端を発した重症急
性呼吸器症候群(SARS)は、
その後香港を経由して短期間のう
ちに世界に広がりまし。二〇〇
三年七月にWHOはSARS制圧
を宣言しましたが、先日来SARS
と似たコロナウイルスを病原体
とする中東呼吸器症候群(MER

水際作戦を実施しましたが、残念
ながら五月に国内発生が確認され
ました。二〇一三年十二月に西ア
フリカのギニアで流行が始まった
エボラ出血熱は、たちまち周辺国
に広がり、現在までに死者数が約
一万人に達する大流行となりま
す。本年五月にリベリアで終息
するかに身近なものになっています。
これらに対応するためには、検
疫・入国審査や出入国者に対する



や「マネジメント関連科
目」等も入れ、千八百五十
時間プラスαの教育で資格
を認定できるようにする。
キャリアアップは大学院で
行い、教育・研究領域では
「研究者」や「介護教員」
を目指す。実務領域では、
介護福祉士養成大学卒は認
定介護福祉士研修の単位互
換ができるようにし、認定
生労働省が提案している

虚弱「フレイル」予防としての
食べる力の維持

柳 沢 幸 江

平均寿命がさらに伸びて
いく中で、健康寿命をいか
に伸ばすかということとは、
生活の質の維持にとつて極
めて重要な課題である。そ
の観点から、サルコペニア
やロコモティブシンドロ
ム予防が盛んに取り上げら
れているが、日本老年医学

平均寿命がさらに伸びて
いく中で、健康寿命をいか
に伸ばすかということとは、
生活の質の維持にとつて極
めて重要な課題である。そ
の観点から、サルコペニア
やロコモティブシンドロ
ム予防が盛んに取り上げら
れているが、日本老年医学

平均寿命がさらに伸びて
いく中で、健康寿命をいか
に伸ばすかということとは、
生活の質の維持にとつて極
めて重要な課題である。そ
の観点から、サルコペニア
やロコモティブシンドロ
ム予防が盛んに取り上げら
れているが、日本老年医学

平均寿命がさらに伸びて
いく中で、健康寿命をいか
に伸ばすかということとは、
生活の質の維持にとつて極
めて重要な課題である。そ
の観点から、サルコペニア
やロコモティブシンドロ
ム予防が盛んに取り上げら
れているが、日本老年医学

平均寿命がさらに伸びて
いく中で、健康寿命をいか
に伸ばすかということとは、
生活の質の維持にとつて極
めて重要な課題である。そ
の観点から、サルコペニア
やロコモティブシンドロ
ム予防が盛んに取り上げら
れているが、日本老年医学

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

(介護福祉士養成大学連絡協
議会会長、目白大学教授)

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

「教育体系の確立」「専門性
にに応じた役割と位置付け」
の観点から検討していくべ
きと考えている。われわれ
教員はそれをもとに、これ
からの介護職の中核を担う
フレイル期・生活の広がり
や人のつながりの低下が
生じた。

2015年版
栄養士実力認定試験過去問題集
過去5年分の出題問題を分野別に記載。系統的に学習できる。
A4判/96頁(別冊解答・解説8頁付)1089円
2015年版
フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集
昨年より実施の専門フードスペシャリスト試験問題も収載。
A4判/100頁(別冊解答・解説12頁付)1100円

介護福祉士養成課程・介護職等のための
医療的ケア(演習用DVD付)
介護福祉士等が実施できる喀痰吸引等について、手技・手順
だけでなく根拠となる知識・技術・価値を習得する。
付録DVDでは、喀痰吸引等の実施手順のほかに、在宅での
生活を支援するホームヘルパーの仕事の様子も収録。
終崎京子・荏原順子 編著 B5判/216頁 2800円
高齢者の言語聴覚障害 症例から学ぶ
評価と支援のポイント
障害ごとに代表的な疾患について網羅的に全30症例を収載。
高齢社会のキーワード「地域支援」についてもまとめる。
言語聴覚士として必要な評価と支援の生きた手本となる一冊。
飯干紀代子・吉畑博代 編著 B5判/196頁 2700円

近 刊 案 内

平成27年9月12月刊行予定
等価表掲載の価格がござい
ます。

カレント
人体の構造と機能
及び疾病の成り立ち1
志村三夫・石田 均 編著 B5 208頁 2400円
社会・環境と健康…公衆衛生学第4版
北田善三・須崎 尚 編著 B5 208頁 2400円
Nブックス
新版 生 化 学
木元幸一・後藤 潔 編著 B5 232頁 2600円
管理栄養士講座
改訂 臨床栄養学Ⅱ(第2版) 鈴木 博・中村丁次 編著 B5 376頁 4500円
栄 養 薬 理 学
田中芳明・中村 強 編著 B5 168頁 2400円
シードブック
保育・教育相談支援
太田光洋 編著 A5 160頁 1700円
子育てを支える一
い育ち・子育てを支える一
中村義久・草間吉夫 編著 B5 160頁 2000円
実習ガイドブック
高橋の自立した生活を支
持するためにできることが
よりクリアとなってきた。
(和洋女子大学教授

学術機関向け電子書籍サービス
図書館・研究所などで利用する、オリジナルプラットフォーム
で閲覧できる学術図書に特化した電子書籍提供サービス。
◎紀伊國屋書店 NetLibrary / 丸善 eBook Library
教科教育百年史 / 造形教育事典 / 新食品分析ハンドブック
クド食品保蔵・流通技術ハンドブック / 調理科学実験文
要目集1950 / 日本人の生活 / 服飾史・服飾美学関連論文
要目集1998 / 2008 / 変動する家族
(管理栄養士講座シリーズ 全16点)
(日本栄養・食糧学会監修シリーズ 全14点)
(21世紀の調理学シリーズ 全7点)
(TACS看護学シリーズ 全13点)
(言語聴覚療法シリーズ 全16点)
(詳しくは弊社ホームページをご覧ください。)

教科教育百年史 / 造形教育事典 / 新食品分析ハンドブック
クド食品保蔵・流通技術ハンドブック / 調理科学実験文
要目集1950 / 日本人の生活 / 服飾史・服飾美学関連論文
要目集1998 / 2008 / 変動する家族
(管理栄養士講座シリーズ 全16点)
(日本栄養・食糧学会監修シリーズ 全14点)
(21世紀の調理学シリーズ 全7点)
(TACS看護学シリーズ 全13点)
(言語聴覚療法シリーズ 全16点)
(詳しくは弊社ホームページをご覧ください。)